



Sporting Regulations

競技規則書

Ktaikyu GTaikyu

Tokai Series 2013



www.gt-produce.com

『2013 K耐久／GT耐久東海シリーズ』 大会規則／安全規則 Ver.1

【大会規則】

※ 昨年からの変更点は**赤色**で記載してあります。(開催日程以外)

※ Ver.1 以降の追加／変更箇所は**青色**で記載してあります。

開催日程	K耐久／GT耐久 共通												
		開催日時	決勝時間	申込受付期間	早割適用入金期限								
	第1戦	3月24日(日)	3H	2月18日～3月4日	2月25日着金迄								
	第2戦	5月19日(日)	3H	4月15日～4月30日	4月22日着金迄								
	第3戦	7月14日(日)	3.5H	6月10日～6月24日	6月17日着金迄								
	第4戦	9月29日(日)	3.5H	8月26日～9月9日	9月2日着金迄								
	第5戦	11月24日(日)	3H	10月21日～11月5日	10月28日着金迄								
	・開催場所は全て「スバ西浦モーターパーク」。 ・決勝前に約15分のフリー走行兼予選あり。 ・早割りは、入金期限の期日までに指定口座に着金がないと認められません。 ※ K耐久とGT耐久で、どちらが午前・午後になるかは公式通知にて発表となります												
参加資格	1. 有効な普通自動車免許の所有者であること。 2. 主催者が認めるドライバー。												
参加申込	1. 申込受付期間 上記、開催日程の欄に記載された申込受付期間内に下記の要領で申し込むこと。 2. 申込方法 ①必要書類(「参加申込書」と「車両申告書」)に必要事項を記載の上、下記の「GT走行会運営事務局」まで郵送、FAX、またはe-mailで送付すること。 ※必要書類は公式HPよりダウンロードするか、事務局までご請求下さい。 『申込先』 〒438-0073 静岡県磐田市二之宮東14-17 (株)GT CAR プロデュース内「GT走行会運営事務局」宛て FAX : 0538-37-6678 e-mail : info@gt-produce.com ②参加費用を参加申込書送付から3日以内に銀行振込で送金すること。 『振込先』 浜松信用金庫 磐田支店 普通 098186 口座名義 カ)ジーティーカープロデュース ※チーム代表者名と別名義で入金する場合は、申込書の所定の欄にその旨を記載すること ※振込手数料は参加者負担とする 3. 申し込みの成立 必要書類到着と、参加費用の入金をもって申し込みが成立する。募集台数に達した場合は、正式申し込みの順にて受理する。 4. キャンセルについて ・申込期間中のキャンセルは事務手数料1,000円を差し引き返金する。 ・受理書発送後から、大会前日までのキャンセルは半額を返金する。 ・大会前日以降のキャンセルはできない。(リタイヤ扱いとなる) ・キャンセルの場合、エントリー代の次戦繰り越しは出来ない。 ※指定ピットの位置は、申し込みの順で、申込書に希望した側から割り振る。 ※申込期間よりも前に申込書が到着した場合は、受付初日の正午の申込み順でピット位置を割り振る。 ※他チームと隣り合わせのピットを希望する場合は申込書に記載すること。この場合、後から申し込んだ方のチームの順番で、ピット位置を割り振る。												
参加費用	K耐久／GT耐久共通 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td>ロールケージ装着車両</td> <td>ロールケージ未装着車両</td> </tr> <tr> <td>第1戦、第2戦、第5戦</td> <td>46,000円</td> <td>51,000円</td> </tr> <tr> <td>第3戦、第4戦</td> <td>51,000円</td> <td>56,000円</td> </tr> </table> ※決勝時間によって参加費用が変わるので注意すること ※ロールケージの装着を強く推進するため、装着の有無で参加費の差を設ける ※ロールケージ装着義務付けのクラスは、未装着では参加できない ただし下記の各種割引制度あり。 ① 早割り … ▲1,000円割引 早割適用入金期限(開催日程欄参照)迄に申し込みと指定口座への着金が完了した場合に適用。 (入金期限日までに振込みを完了しても、着金がなされないと認められないので注意すること) ②回数割り(第2戦より適用となる) 今シーズン2回目の参加車両… ▲1,000円割引 今シーズン3回目の参加車両… ▲2,000円割引 今シーズン4回目の参加車両… ▲3,000円割引 今シーズン5回目の参加車両… ▲4,000円割引 (例:第1戦参加、第2戦欠席で、第3戦にエントリーする場合は、2回目(▲1,000円割引)となる) ※同じチームから複数台参加する場合の回数割りは、ゼッケン番号ごとに回数をカウントする。					ロールケージ装着車両	ロールケージ未装着車両	第1戦、第2戦、第5戦	46,000円	51,000円	第3戦、第4戦	51,000円	56,000円
	ロールケージ装着車両	ロールケージ未装着車両											
第1戦、第2戦、第5戦	46,000円	51,000円											
第3戦、第4戦	51,000円	56,000円											

『2013 K耐久/GT耐久東海シリーズ』 大会規則/安全規則 Ver.1




	③学割り・・・▲2,000円割引 大学、専門学校の自動車部・サークルのチームに適用。参加車両名に学校名を入れ、 ドライバー2名以上が在校生であること。
参加人数	全戦とも1チームあたり2～6名までのドライバーとする。 ※登録してあるドライバーであれば運転の順番・回数は自由とする

クラス分け	1) K耐久(軽自動車) 下表の通り5つのクラスに分けられる			
		ノーマルクラス (ほとんど改造が出来ないクラス)	クローズドクラス (改造範囲の狭いクラス)	オープンクラス (改造範囲の広いクラス)
	NAエンジン	KNNクラス	KNCクラス	KNOクラス
	過給機付きエンジン	-----	KTCクラス	KTOクラス
	【補足事項】 ・全クラスともナンバープレート(車検)の有無は問わない。 ・ 新規規格軽自動車はハンディーをもらえる。ハンディーの詳細は「ピットハンディー」の項を参照のこと。 ・ノーマル、クローズド、オープンの分けについては車両規則を確認のこと。			
	2) GT耐久(普通車) 下表の通り4つのクラスに分けられる			
		クローズドクラス (改造範囲の狭いクラス)	オープンクラス (改造範囲の広いクラス)	
	1000cc以下のNA車	1Cクラス	OPクラス	
	1001cc～1500ccのNA車 1200cc以下の過給機付車	2Cクラス		
	1501cc以上のNA車 1201cc以上の過給機付車	3Cクラス 注1)ただし下表1の車種については2Cクラスに分類される。		
	表1 特例で2Cクラスに分類される車種		ユーノスロードスター(NA6、NB6) カローラレビン/スプリンタートレノ(AE86、AE92(NA)) スイフトスポーツ(ZC31S)	
	【補足事項】 ・全クラスともナンバープレート(車検)の有無は問わない。 ・「1Cクラス」と「2Cクラス」は、まとめて「1+2Cクラス」として表彰する。 ただし1Cクラス該当車については、ハンディーをもらえる。ハンディーの詳細は「ピットハンディー」の項を参照のこと。 ・ロータリーエンジンの排気量は、1.0倍換算とする。 ・ハイブリッドカーの排気量は、1.0倍換算とする。 ・クローズド、オープンの分けについては車両規則を確認のこと。 ・以下の車両は量産箱型車と著しく性能差があると判断し、エントリー出来ない。 ロータスエリーゼ、エクシージ等 箱型(モノコックフレーム)でない車両・・・スーパーセブン、ザウルス等 その他主催者が上記に属すると判断した車両			
フリー走行/予選	・決勝前に約15分のフリー走行を行ない、ラストの5分で予選を兼ねたタイム計測を行う。 ・フリー走行中のピットインおよびドライバー選定は自由。 ・助手席への同乗走行が認められる。ただし同乗者はドライバーと同一の装備で乗車すること。 ・フリー走行終了後は、ピットロードの指定ピット前に戻り待機すること。			

『2013 K耐久／GT耐久東海シリーズ』 大会規則／安全規則 Ver.1

グリッド順	<ul style="list-style-type: none"> ・決勝までの間の給油は許されるが、給油のルールを守ること。 ・予選で計測したベストタイムの順に決勝グリッドに並ぶ。 ・タイム計測の結果はフリー走行終了後間もなく、掲示板やピットの柱に掲示される。 ・フリー走行でタイムを残せなかった場合は、タイムの残った最下位の車両の後ろのグリッドに並ぶ。 ・グリッドは2×2(ツーバイツー)を使用する。1位のチームが最前列右側、2位が最前列左側、3位が2列目右側、4位が2列目左側、(以下同順)……、という順番となる。 ・グリッド表は発表されないで、タイム計測結果から、自チームが何列目のどちら側か計算すること。
スタート方法	<ol style="list-style-type: none"> ① フリー走行のタイム計測結果が発表されてから間もなく、ピットレーン出口のライトがグリーンになったらコースインを開始し、コースを1周回ってグリッドに着く。 ピットレーン出口のライトはグリーンになってから約2分後に赤となる。この間にコースイン出来なかった場合はピットスタートとなる。ピットスタートの場合はグリッドスタートの車両よりも(フォーメーションラップが無い分)周回数が1周少なくなることを承知すること。 ② チーム員はグリッド上に出て自チーム車を誘導すること。 グリッド上では後退ギヤの使用は禁止する。(必要時は人力で後退させること) ③ 3分前ボード提示…ドライバー、オフィシャルを除く全ての者はコース上から退去する。 レーススタートまでの間はプラットホームおよびピットロードへの入場は禁止となる。 ④ 1分前ボード提示…ドライバーは車両に着座した状態でエンジンを始動する。 ⑤ フォーメーション開始…メインポストでグリーンフラッグが振られたら、セーフティカー(以下SCと記す)に先導されながら順列を保ったまま1周する。 ・フォーメーションラップ中は前車との間隔を1～2車身に保つこと。間隔があまりに開く場合はペナルティを課す。 ・SCがピットインしたら競技開始となる。コントロールラインを通過するまでは、前車を追い越してはならない。
ピットインおよびピットアウト	<ul style="list-style-type: none"> ・ピットロードの制限速度は40Km/h以下とし、違反した場合は罰則が課される。 ・ピットガレージ前の部分(ピットレーン)は次の2つに区分される。 <ol style="list-style-type: none"> ① 走行レーン ～ メインストレート側のアスファルトの部分。ここはピットインおよびピットアウトの際に走行を行う区域である。 ② 作業レーン ～ ピットガレージ側のコンクリートの部分。ここは、ピット作業のための部分であり車両停車を行う区域である。 ・ピットインする車両は、45Rを過ぎたら8番ポスト前でコース左側に車両を寄せ、安全を確認してからピットロードに進入しなければならない。 ・ピットロードに進入した車両は、自己のピットの出来るだけ近い位置で走行レーンから作業レーンに入る事。 ・義務ピットインの際に、21番ピットの作業レーン前でタイムカードをもらった車両は、一旦走行レーンに戻ってから自己ピットまで移動すること。 ・ピットレーンでは後退ギヤの使用は禁止され、違反に対しては罰則が適用される。 ・ピットアウトしようとする車両は、走行レーンにおいてはピットインしてくる車両に優先権があることを承知していなければならない。 ・ピットロード出口灯火信号について 赤灯が点灯しているときはコースインしてはならず、緑灯が点灯している時のみコースイン可とする。 ・ピットアウトしてコースに復帰するドライバーはストレート合流部右側にあるホワイトラインを踏んではならない。ホワイトラインを踏んだ場合はペナルティを課する。また第2コーナー出口に達するまではコース左側ラインに沿って走行しなければならない、その間後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。
ピット作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ピットには水の入ったバケツを置いておくこと。 ・作業が長時間に及ぶ場合は、車両を屋根下ピットに入れて作業すること。 ・ピットを水浸しにするような行為は、出火時等の緊急時を除いては慎むこと。 (ラジエター、タイヤ等を冷却したい場合は噴霧器を使用すること) ・ピットストップ時間に余裕がある場合、人力で車両を動かして(退出し易い)車両の向きに変えることが許される。ただし指定ピット付近から移動してはいけない。 ・ピットロード、プラットホームでは以下の行為は危険なため禁止とする。 ① 傘の使用(日傘含む) ② ハイヒールの着用 ③ カカトの無いサンダルの着用
義務ピットイン、作業ピットイン、義務ドライバー交代	<p>ピットインの種類は大きく分けて、『義務ピットイン』、『作業ピットイン』、『義務ドライバー交代』の3つに分けられる。</p> <p>1)『義務ピットイン』について (決勝時間3H、3.5H共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決勝スタート後30分から、チェッカー予定時刻の30分前まで(※1)の間に、3回の『義務ピットイン』を行わなければならない。『義務ピットイン』時は全ての作業を行うことができる。 ・ただし、「義務ピットイン回数削減ハンディー(ピットハンディーの項参照)」が与えられる車両は、2回の『義務ピットイン』と、1回の『義務ドライバー交代(本項の(3)を参照)』を、決勝スタート後30分

	<p>から、チェッカー予定時刻の 30 分前まで(※1)の間に行わなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『義務ピットイン』時は、4 分のピットストップをしなければならない。 ・『義務ピットイン』時の、ルールおよびピットストップ時間の計り方は以下の通りとする。 <ol style="list-style-type: none"> ① ピットロードに入って管制塔前を通過したら左側の作業レーンに入り、21 番ピット前にいる「オフィシャル(タイムカード発行員)」のところで停車する。 ② 21 番ピット前のタイムカード発行員のところに止まった時間を“PITイン時刻”とする。 ③ “PITイン時刻”を書いた「タイムカード」をオフィシャルが発行し、ピットイン車両に渡す。 ※「タイムカード」を受け取らなかった場合は『義務ピットイン』および『義務ドライバー交代』回数としてカウントされない。 ※「タイムカード」を受け取らずに自己ピットまで行った車両については、後から「タイムカード」を受け取りに来ても発行はできない。 ※タイムカード発行員がいるのは、決勝スタート後 30 分から、チェッカー予定時刻の 30 分前までである。 ※「タイムカード」待ちの車両が渋滞していた場合は、自身の車両がタイムカード発行員のところに到達した時間が“PITイン時刻”となる。 この箇所が渋滞していたために発行時間が遅くなったことについてのクレームは一切受け付けないので、チームで作戦を立ててピットインの指示を出すこと。 ④ 「タイムカード」を受け取った車両は、自己ピットに向かう。(自己ピットの位置は、受理書送付と同時に案内される) ⑤ 自己ピットに停車したら、近くにいる「オフィシャル(ピット審判員)」に「タイムカード」を渡す。 ⑥ 「タイムカード」を受け取ったピット審判員は、「ピットアウト時刻」を車両右フェンダーのシール(雨天時はフロントガラス内側の用紙)に記入する。 「ピットアウト時刻」=「ピットイン時刻」+「4 分」となる。 ⑦ 「ピットアウト時刻」が来たら、指定ピットからスタートすることが出来る。この時、ピット審判員はフライングが無いか確認するだけで、スタートの指示はしない。 フライングが確認された場合はペナルティを課される。 ⑧ 10秒以上のフライングを行った場合はその回のピットインは『義務ピットイン』とは見なさない。 <p>※1 決勝スタート 30 分後から、チェッカー予定時刻の 30 分前までに「タイムカード」をもらうこと。タイムカード員はこの時間帯しか配置されないのので、この間にタイムカードをもらい「義務ピットイン」(「義務ドライバー交代」)を履行しなければ失格となる。</p> <p>2)『作業ピットイン』について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『作業ピットイン』とはピットストップ時間が自由な(タイムカードを受け取らない)ピットインであり、その回数や、タイミングは自由とする。 ・『作業ピットイン』時に出来る作業内容は、『義務ピットイン』と同じである。 <p>3)『義務ドライバー交代』について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『義務ドライバー交代』は、次項の「ピットハンディー」が適用されるチームのみが使うものである。自チームに該当するかどうかは「ピットハンディー」の項を確認すること。 ・『義務ドライバー交代』の際には必ずドライバーを交代させること。ドライバー交代以外の全ての作業を行うことも認められる。 ・『義務ドライバー交代』は決勝スタート後 30 分から、チェッカー予定時刻の 30 分前まで(上記※1参照)の間に行わなければならない。 ・『義務ドライバー交代』は『義務ピットイン』と同様の方法で「タイムカード」を受け取らなければならない。タイムカードの受け取り方は、『義務ピットイン』の項目を参照のこと。 ・『義務ドライバー交代』を行う場合は、自己ピットで「タイムカード」をピット審判員に渡す際に、今回は義務ドライバー交代である旨を必ず告げること。(伝え忘れると、ピット審判員は『義務ピットイン』と誤解し、停止時間不足などでペナルティを課する恐れがあるので注意すること) 「タイムカード」を受け取った審判員は、右フェンダーのシール(雨天時はフロントガラス内側の用紙)に、「一時一分一秒」と記入する。 ・『義務ドライバー交代』は、ドライバーの交代が完了したらいつでもピットアウトしてよい。 			
ピットハンディー	<p>1) 「義務ピットイン回数削減」ハンディー 基本は3回の「義務ピットイン」を行わなければならないが、以下に該当する車両は2回の「義務ピットイン」と1回の「義務ドライバー交代」を行えば良いこととする。</p> <table border="1" data-bbox="411 1809 986 1904"> <thead> <tr> <th>項 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>K耐久の 新規格軽自動車</td> </tr> <tr> <td>GT耐久の 1Cクラスに該当する車両</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 「義務ドライバー交代追加」ハンディー 以下に該当する改造を施した車両は、3回の義務ピットインに加えて、それぞれ1回の「義務ドライバー交代」を行わなければならない。</p>	項 目	K耐久の 新規格軽自動車	GT耐久の 1Cクラスに該当する車両
項 目				
K耐久の 新規格軽自動車				
GT耐久の 1Cクラスに該当する車両				

	項 目	義務ドライバー交代
	K耐久の 気筒容積アップ車両（詳細は車両規則を要確認）	1 回加算
	K耐久の オーバーフェンダー装着車両（詳細は車両規則を要確認）	1 回加算
給油作業	<p>例) 新規格軽自動車で、気筒容量をアップした場合・・・2 回の義務ピットインと、2 回の義務ドライバー交代を行うことになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリー走行、予選後の給油は認められる。 ・フリー走行時、予選後、決勝中の給油は、必ず自己ピット前で行うこと。 ・給油者は給油作業前に、ピットに設置された静電気除去シートに触ること。 ・給油は金属製のガソリン携行缶を必ず使用すること。樹脂製のポリタンクの使用は禁止する。 ・1度の給油は20Lまでとする。 ・給油時は給油している横で消火器を持った消火要員を1名待機させ、消火器のノズルを給油口に向けて構えること。 ・給油者および消火要員はヘルメット、グローブ、長袖長ズボンを装着のこと。着用するヘルメットはフルフェイスヘルメットの着用を推奨する。 ・給油中はエンジンを必ず切ること。 ・給油中に給油以外の作業を行うことは認められる。 ・ピット用消火器は車載用とは別に、粉末重量2.0Kg以上(又はCO2 2.0Kg以上)のものを1チームに1本持参すること。 ・給油作業の無いチームも消火器の持参は必須とする。 	
セーフティカー	<p>競技長の決定により、レースを非競技化するためにセーフティカーが使用される場合がある。セーフティカーは、ドライバーまたはオフィシャルが危険な状況ではあるが、レースを中断するほどではない場合に使用される。</p> <p>セーフティカーの運用規定は以下の通りとする</p> <ol style="list-style-type: none"> ① セーフティカー配備の命令が下された場合、全ての有人ポストは黄旗の振動表示とSCボードを表示し、セーフティカーの活動が終了するまで保持する。 黄旗の振動表示とSCボードが出されたら追い越しは禁止される。各車両は前後に注意を払いながら、速度を40Km/h程度まで落として走行すること。 ② セーフティカーは、車体の両サイドおよびリヤに「SAFETY CAR」と表示された車両を使用する。その車両はルーフに黄色回転灯を備えている。 ③ セーフティカーはピットエンドの待機エリアから導入される。メインストレートを通る車両は、セーフティカーがコースインしてくることを想定しながら走行すること。 ④ セーフティカーが活動中の各周回はレース周回として数えられ、ピット作業も通常通り行うことが出来る。また「義務ピットイン」の項目に定められた時間帯であれば、『義務ピットイン』を行うことが出来る。 ⑤ セーフティカー（以下SC）導入および、再スタートまでの手順については下記のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 事故発生 全ポストSCボードと黄旗振動表示。 2. SCが暫定トップ車両の付近にコースイン(■は暫定トップ車両)。(基本的にSCは暫定トップ車両の少し前を狙ってコースインする。) <div style="text-align: center;">  <p>SC ← □ □ ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ……</p> </div> <p>※2 SCが暫定トップ車両の後にコースインした場合は、下記の「※2」項を参照のこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 現場では撤去作業開始。 4. SCが介入中にピットにて作業中の車両は、ピットレーン出口にてグリーンライトが点灯している時のみにコースインすることができる。グリーンライトは競技長の判断で点灯される。 5. 暫定トップ車両捕まえ作業。 暫定トップ車両がSCの直後に来るように、SCと暫定トップ車両の間にいる車両に対して、SCを追い越すよう指示を出す。 <div style="text-align: center;">  <p>← □ SC ← ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ……</p> </div> <p>SCから追い越しの指示は1台ずつ出すので、後続の車が付いて追い越さないように注意すること。</p> <div style="text-align: center;">  <p>← □ SC ← ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ……</p> </div> <p>SCを追い越した車両は十分に注意しながら走行し、隊列の最後尾に付くこと。</p> 	

	<p>6. 事故現場の作業終了 → 再スタート可能な状況。 7. SCが黄色回転灯を消してピットインし、競技再開。 8. コントロールラインを通過するまでは、前車を追い越してはならない。 9. 全ポストにて、先頭車両通過時から1周回緑旗振動提示。</p> <p>※2 SCが暫定トップ車両の後ろにコースインしてしまった場合は、SCが前走車両を追い越して“暫定トップ車両捕まえ作業”を行うことがある。 SCが前走車両を追い越す場合は、パッシングと警笛で前走車に合図を送るので、合図を送られた車両は安全走行に努めて減速し、SCを先行させなければならない。</p>
<p>赤旗時の運営方法</p>	<p>事故によってコース上が閉鎖されたり、天候またはその他の理由で競技の継続が危険となったため、決勝レースを中断する必要があるが生じた場合、競技長は赤旗をすべての監視ポストで、またコース上の赤シグナルを提示することを命ずる。</p> <p>1) レース中断の合図が出されたら追い越しは禁止され、ピット出口は閉鎖される。 そして全車は赤旗ライン(メインタワー手前のスタートライン)の後方にゆっくりと進み、ストレート右側に寄って停止しなければならない。 ただしメインポストで初めて赤旗を見た車両は、追突を防止するためもう1周回ってから隊列の後方に停止すること。</p> <p>2) レース中断の間は、レースも計時システムも停止することはない。 ピットに入ったならば作業を行うことができる。 “義務ピットイン”の項目に定められた義務ピットインが可能な時間帯であれば、『義務ピットイン』を行うことができる。(この場合も通常の義務ピットインと同様にタイムカードを受け取ること)</p> <p>3) ストレート上で待機している車両は、レース中断の間にオフィシャルが指示し、暫定トップ車両を先頭に入れ替え(頭出し)を行う。 コース上で暫定トップ車両よりも前に停車していた車は、SCに先導されてコースを1周回り、隊列の後方に移動する。(このタイミングでピットインすることも可能である)</p> <p>4) レース再開時はSCが先導して隊列を引っぱる。その際後続車は前の車両から約1～2車身の距離を保って続くこと。</p> <p>5) 列最後尾の車両がピットレーン終了地点を通過するとすぐに、ピット出口のライトがグリーンに変わる。その時ピットレーンにいる車両は全て、コースに出てSC後方の車両隊列に合流することができる。</p> <p>※ピットレーンが渋滞していて、ピット作業が終了したにもかかわらず走行レーン上に合流できない車両がいる場合は、走行レーン上に並んだ順番にかかわらず車両の鼻先が前方にある方から優先的にコースに出て行くことができる。</p> <p>6) SCがピットインして競技再開となる。コントロールラインを通過するまでは、前車を追い越してはならない。全ポストにて、先頭車両通過時から1周回緑旗振動提示。</p> <p>※競技再開時には、SCは基本的に1周でピットインするが、レースの状況により競技長が判断した時は、2周以上走行してからピットインする場合がある。この場合には、ストレート上に待機している各車両にはオフィシャルから通達を行ない、ピットレーンにいた車両には放送でその旨を伝える。</p> <p>決勝終了間際にレース中断となり、チェッカー予定時刻になってもレース再開ができなかった場合は、競技長の判断でレース終了となる。この場合は、レース中断の合図が出された周回の1つ前の周回が終了した時点の結果が採用される。</p>
<p>赤旗要素となった車両の扱い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤旗要素となった車両で走行に問題がある可能性がある判断された場合は、車両はレッカー(もしくは自走)で洗車場に移動される(移動するよう指示される)。 ・洗車場に移動された車両で、ジャリや土を噛んでいる場合はそれを十分に落とし、再走行に問題が無い状態に清掃すること。 ・再走行ができる状態、もしくはピットに移動ができる状態になったならば、チーム員は管制塔までオフィシャルを呼びに行き、再走行またはピットに移動する許可をもらうこと。許可が下りない限りはピットには戻れない。 ・ピットに戻る際には必ずコースインゲートからピットロードに合流すること。 ・ピットに移動する許可が出た場合でも、その時の赤旗中断が継続している場合は、赤旗中断が終了するまではピットロードには戻れない。具体的には、競技再開後に先導を終えたSCがピットインして、コースインゲート前を通過した後でないとピットロードには戻れないので、それまではコースインゲート横で待機すること。 ・ピットロードに戻った車両は“義務ピットイン”の項目に定められた義務ピットインが可能な時間帯であれば、『義務ピットイン』または『義務ドライバー交代』を行うことができる。 ・洗車場で修理作業を行うことは許されるが、ドライバー交代および、給油作業は行ってはならない。
<p>ペナルティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レース中に違反を犯した車両はペナルティを課される。 ・レース中に実行されるペナルティは、ドライビングスルーペナルティ、ペナルティストップ、周回数減算の3種類がある。 ・レース終了後に実行されるペナルティは、競技結果からの周回数減算がある。

	<p>① 『ドライビングスルーペナルティ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象車両には、メインポストで「Dボード(黒ベースに黄のD文字)」+「競技番号」が提示される。(黒旗は提示されない) ・提示された車両はピットインし、40Km以下でピットロードを通過しなければならない。 ・ドライビングスルーペナルティ実行時は自己ピットに止まることはできない。 ・ボードを提示されてから3周以内にペナルティを実行しなかった場合、以降1周経過する毎に、リザルトから1周減算のペナルティを課される。(ボード提示後、メインポストを3回通過までは減算ペナルティは付かない。例えば5回通過した場合は、2周減算となる。) <p>■『ドライビングスルーペナルティ』の対象となる主な違反行為は下記の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「黄旗時追い越し」／「赤旗時追い越し」／「ピットロード速度違反」／「青旗無視」／「フォーメーションラップ中の車間開け過ぎ」／「リバースギヤ使用違反」 <p>※ただし競技長の判断で上記の罰則を軽減したり強化することができる。</p> <p>② 『ペナルティストップ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象車両には、メインポストで「Pボード(黒ベースに赤のP文字)」+「競技番号」が提示される。(黒旗は提示されない) ・提示された車両はピットインして、1番ピット先にあるストップエリア(白線で四角表示がある箇所)に止まり、スタッフの指示に従わなければならない。 ・スタッフの指示は「忠告のみ」、「1分停止」、「3分停止」がある。 ・ペナルティストップ実行時は自己ピットに止まることはできない。 ・ボードを提示されてから3周以内にペナルティを実行しなかった場合、以降1周経過する毎に、リザルトから1周減算のペナルティを課される。(ボード提示後、メインポストを3回通過までは減算ペナルティは付かない。例えば5回通過した場合は、2周減算となる。) <p>■『ペナルティストップ』の対象となる主な違反行為は下記の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 忠告のみ 「ホワイトラインカット」／「運転席窓開き走行」／「ハザード走行」／「危険走行」 2) 1分停止 「赤旗時の危険停止(赤旗時にメインストレートで初めて赤旗を見た車両が赤旗停止ラインで急停止した場合)」／「危険走行」／「義務ピットイン時間不足(0.1～10秒)」 3) 3分停止 「PITエンドシグナル無視」 <p>※ただし競技長の判断で上記の罰則を軽減したり強化することができる。</p> <p>③ 『周回数減算』</p> <p>次のような場合、最終結果から周回数を減算する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペナルティボード提示を3周以上無視した場合(4回目から1周ずつ減算が増える) ・チェッカー10分前を切ったタイミングでペナルティを犯した場合。 ・レース後半で、何らかの事情によりドライビングスルーペナルティ、またはペナルティストップが実行出来ない場合。 <p>※減算周回数については状況に応じて競技長が決定する。減算周回数についてのクレームは一切受け付けない。</p>
チェッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・決勝終了時刻が過ぎた後、総合1位の車両を先頭にメインポストでチェッカーが振られ、決勝が終了となる。 ・チェッカーはメインポストで振られるが、順位の認定は管制塔前の計測ライン(白線)を通過した順となる。(計測ライン通過後、メインポストまでの間に追い抜いても無効である)
装備品	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーは、「ヘルメット(SNELL規格又はJIS C種が望ましい)、グローブ(自動車ドライビング用で指先まで覆うもの)、厚手の長袖と長ズボン(レーシングスーツが望ましい)、運転に適したシューズ(レーシングシューズが望ましい)」を必着のこと。 ※長袖、長ズボンの着用は、レースアクシデント時にケガや火傷から身を守るためであることを理解の上、厚手で燃えにくい綿素材のものを着用することを強く推奨する。 ・レーシングスーツは安全上ダブルレイヤー以上の自動車競技用のものが望ましい。 ・走行中に袖を腕まくりすることは禁止される。
準備必須品	<p>各チームは給油の有無に関わらず、下記の備品を必ず準備しピットに常備すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピット用消火器(粉末重量2.0Kg以上、CO2 2.0Kg以上)※車載の物とは別に準備すること ・バケツ(水を入れてピットに置いておくこと)

『2013 K耐久／GT耐久東海シリーズ』 大会規則／安全規則 Ver.1

<p>競技番号、ゼッケン</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加車両は、大会事務局によって定められた競技番号を参加者の責任において、指定の位置、書体、大きさで記入されていなければならない。 数字はアラビア数字、書体はボールド又はゴシック体、数字のタテの長さは28cm以上とすること。 競技番号は次の通り指定された色で記入されていなければならない。 <table border="1" data-bbox="411 286 1088 380"> <tr> <td>ゼッケン</td> <td>ゼッケンベース</td> </tr> <tr> <td>黒</td> <td>白</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※形状は丸、角は問わない</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 競技番号は下記の4箇所に貼り付けること。 ① フロントフード ②③前席左右ドア ④リヤ ※リヤ部分の数字のタテの長さは28cm未満でもよい 障害者用操作装置を装着した車両は、ゼッケンベースを黄色にすること。 新年度の希望ゼッケン番号は、前年度の利用者より優先権が与えられる。前年度に参加歴の無いチームは申込順に優先権を与える。 一度取得したゼッケン番号は、その年度は優先的に使用することができる。 	ゼッケン	ゼッケンベース	黒	白	※形状は丸、角は問わない																																					
ゼッケン	ゼッケンベース																																										
黒	白																																										
※形状は丸、角は問わない																																											
<p>クラス識別ステッカー</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加車両は次の通りに指定された色のクラス識別ステッカーを、フロントガラス上部と、リヤガラスの2箇所に貼り付けなければならない。 リヤガラスに貼り付けが困難な車両は、リヤガラスの近くで後続車に見えやすい場所に貼ること。 <table border="1" data-bbox="411 728 1273 913"> <tr> <td>クラス</td> <td>色</td> </tr> <tr> <td>KNN、1C、2C</td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>KNC、3C</td> <td>黄</td> </tr> <tr> <td>KNO、OP</td> <td>赤</td> </tr> <tr> <td>KTC</td> <td>緑</td> </tr> <tr> <td>KTO</td> <td>オレンジ</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> クラス識別ステッカーの配布は参加受付時に行う。 前戦に貼ったステッカーが残っている車両は、それを継続使用してよい。 	クラス	色	KNN、1C、2C	青	KNC、3C	黄	KNO、OP	赤	KTC	緑	KTO	オレンジ																														
クラス	色																																										
KNN、1C、2C	青																																										
KNC、3C	黄																																										
KNO、OP	赤																																										
KTC	緑																																										
KTO	オレンジ																																										
<p>トランスポンダー (タイム計測器)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全ての参加車両は主催者が用意したトランスポンダーを車検時までに装着し、フリー走行、予選、決勝を通じて装着してなければならない。 トランスポンダーの配布は参加受付時に行い、レース終了後は受け付け場所まで返却すること。万一破損・紛失した場合は代金がサーキットより請求される。 トランスポンダーは車内のドアの低い位置に、上下正しい向きで、粘着テープ等で確実に固定すること。運転席側、助手席側は問わない。 																																										
<p>窓の開閉</p>	<p>サーキット走行中は運転席側の窓は閉めること。助手席および後部座席の窓は開けてもよい。ただしウインドウセーフティネットを運転席側に装着した場合は、窓を開けて走行することが許される。</p>																																										
<p>順位の認定および完走の規定について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 順位認定は、管制塔前の計測ライン上(ピットレーン上含む)でチェッカーを受けて最終周回を完了した車両に対して優先的に与えられる。 順位はチェッカーフラッグが振られた後に完了する周回数の多い車両から決定される。同一周回の場合は、管制塔前の計測ライン(ピットレーン上含む)通過順位によるものとする。 チェッカーを受けられなかった車両のうち、(各クラスの)優勝車両の走行周回数の70%以上(端数切捨て)を走行した車両は、チェッカーを受けた車両の後に順位付けされる。 走行周回数が、(各クラスの)優勝車両の走行周回数の70%未満(端数切捨て)の車両は順位の認定を受けられない。(完走扱いとはならない) 																																										
<p>賞典</p>	<p>クラスごとに表彰を行ない、総合順位での表彰は行わない。 賞典の対象台数は各クラスの参加台数によって以下の通りとする。</p> <table border="1" data-bbox="411 1534 1311 1720"> <thead> <tr> <th>クラス参加台数</th> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> <th>4位</th> <th>5位</th> <th>6位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9台以上</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> </tr> <tr> <td>7～8台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5～6台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3～4台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2台以下</td> <td>賞典</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※賞典はトロフィーと副賞となる。</p>	クラス参加台数	1位	2位	3位	4位	5位	6位	9台以上	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	7～8台	賞典	賞典	賞典	賞典	—	—	5～6台	賞典	賞典	賞典	—	—	—	3～4台	賞典	賞典	—	—	—	—	2台以下	賞典	—	—	—	—	—
クラス参加台数	1位	2位	3位	4位	5位	6位																																					
9台以上	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典																																					
7～8台	賞典	賞典	賞典	賞典	—	—																																					
5～6台	賞典	賞典	賞典	—	—	—																																					
3～4台	賞典	賞典	—	—	—	—																																					
2台以下	賞典	—	—	—	—	—																																					
<p>シリーズポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> クラスごとの順位で毎戦ポイントを与え、1～5戦の合計をシリーズポイントとしシリーズ順位を付ける。 ポイントはクラスごとで、完走扱い車両の上位から10位までの車両には順位ポイントが、完走扱いの車両全てに完走ポイントが与えられる。 第1、2、5戦(決勝時間3h)の順位ポイント <table border="1" data-bbox="454 1899 1024 2047"> <tr> <td>1位</td> <td>20点</td> <td>6位</td> <td>6点</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>15点</td> <td>7位</td> <td>4点</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>12点</td> <td>8位</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>10点</td> <td>9位</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>8点</td> <td>10位</td> <td>1点</td> </tr> </table>	1位	20点	6位	6点	2位	15点	7位	4点	3位	12点	8位	3点	4位	10点	9位	2点	5位	8点	10位	1点																						
1位	20点	6位	6点																																								
2位	15点	7位	4点																																								
3位	12点	8位	3点																																								
4位	10点	9位	2点																																								
5位	8点	10位	1点																																								

	<p>・第3、4戦(決勝時間 3.5h)の順位ポイント</p> <table border="1" data-bbox="454 228 1026 383"> <tr> <td>1位</td> <td>25点</td> <td>6位</td> <td>11点</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>20点</td> <td>7位</td> <td>9点</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>17点</td> <td>8位</td> <td>8点</td> </tr> <tr> <td>4位</td> <td>15点</td> <td>9位</td> <td>7点</td> </tr> <tr> <td>5位</td> <td>13点</td> <td>10位</td> <td>6点</td> </tr> </table> <p>・完走ポイントは全戦とも5点とする。</p> <p>・ポイントは競技番号に付くものとする。よってシーズン途中で車両の変更があった場合でも、同じ競技番号を継承すればポイントは継続する。ただし、クラスを変更した場合はポイントの継続は出来ない。</p> <p>・合計が同ポイントの場合の順位は上位得点の回数の多い順に決定される。 なお、上位得点の回数が同一である場合は、最終戦時に獲得したポイントが高い順によって決定し、それでも決まらない場合はカウントバック方式により最終戦の前戦時、前々戦時・・・に獲得したポイントが高い順によって決定する。</p> <p>・当該レースにおいて失格した場合は、ポイントは獲得出来ない。</p> <p>・シリーズ順位上位チームは最終戦でシリーズ表彰をする。ただし各クラスの表彰対象は、1～5戦までの平均参加台数によって決まる。</p> <table border="1" data-bbox="454 763 1026 918"> <thead> <tr> <th>平均参加台数</th> <th>表彰対象台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8台以上</td> <td>シリーズ6位まで</td> </tr> <tr> <td>6～7台</td> <td>シリーズ4位まで</td> </tr> <tr> <td>4～5台</td> <td>シリーズ3位まで</td> </tr> <tr> <td>3台以下</td> <td>シリーズ1位まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平均台数は小数点以下切り上げとする。つまり平均 3.1 台の場合は 4 台と換算。</p>	1位	25点	6位	11点	2位	20点	7位	9点	3位	17点	8位	8点	4位	15点	9位	7点	5位	13点	10位	6点	平均参加台数	表彰対象台数	8台以上	シリーズ6位まで	6～7台	シリーズ4位まで	4～5台	シリーズ3位まで	3台以下	シリーズ1位まで
1位	25点	6位	11点																												
2位	20点	7位	9点																												
3位	17点	8位	8点																												
4位	15点	9位	7点																												
5位	13点	10位	6点																												
平均参加台数	表彰対象台数																														
8台以上	シリーズ6位まで																														
6～7台	シリーズ4位まで																														
4～5台	シリーズ3位まで																														
3台以下	シリーズ1位まで																														
再車検	<p>・クローズド、ノーマルクラスの上位入賞車両は、レース終了後に車両重量測定を行なう場合がある。指示を受けた車両は車両保管場所に停車し、重量測定の順番を待つこと。車両保管中はウエイトの載せ下ろしなどの不正を防止するため、車両に触れることを禁止する。</p> <p>・K耐久で車両重量測定の指示を受けたチームは、必要に応じてチームで準備したガソリンを注入すること。再車検前のガソリンの注入は車両保管場所で行うこと。</p> <p>・レース終了後に、暫定上位入賞車両には再車検の指示が出る場合がある。再車検でオフィシャルより作業の指示が出た場合は、チーム員がその作業を行うこと。</p> <p>・再車検にてレギュレーション違反が発覚した場合は完走扱いにならない。</p>																														
抗議	<p>1) 抗議について</p> <p>・参加チームは自チームが不当に処遇されていると判断した場合、これに対して抗議する権利を有している。</p> <p>・抗議は文書(書式は自由、常識の範囲内で作成)によって行い、抗議料として1件につき 10,000 円を添え、競技長宛てに各抗議の制限時間内に提出されなければならない。</p> <p>・参加車両に対する抗議書は、抗議対象となる箇所、事項を明確に記載されていなければならない。抗議が受け入れられた場合、それに必要な車両の分解／組立に要した費用は、その抗議が否決された場合は抗議提出者が支払い、その抗議が成立した場合は抗議対象者が支払うものとする。車両の分解／組立に要した費用は大会事務局が算定する。</p> <p>・役務についている競技役員は、たとえ抗議が提出されている場合であっても、それと関係なく自分の権限と義務を執行することができる。</p> <p>・審判員の判定に対する抗議は受け入れられない。</p> <p>2) 抗議の制限</p> <p>・車検に対する抗議は決定直後に提出されなければならない。</p> <p>・予選結果およびスタート位置に対する抗議は、結果発表の 15 分以内に提出されなければならない。</p> <p>・決勝中の規則違反または過失、不正に対する抗議は、決勝終了後 30 分以内に提出されなければならない。</p> <p>・決勝結果への抗議は暫定表彰式終了後 30 分以内に提出しなければならない。</p> <p>・上記期限を過ぎた場合はいかなる抗議も受け付けない。</p> <p>3) 抗議の裁定</p> <p>・抗議の審査にあたり大会審査委員会は必要に応じ、関係当事者および競技役員を証人として召喚し、陳述を求めることができる。</p> <p>・審査後ただちに裁定が下されない場合、その裁定の発表の日時と場所を明らかにして裁定発表を延期することができる。</p> <p>・裁定結果は、関係当事者(代表責任者1名)のみに口頭をもって通知される。</p> <p>・抗議の関係当事者は、裁定結果に服さねばならない。</p>																														

『2013 K耐久／GT耐久東海シリーズ』 大会規則／安全規則 Ver.1

参加者の厳守事項	<ul style="list-style-type: none">・すべての参加者は、大会中、大会役員の指示に従わなければならない。・すべての参加者は大会規則、安全規則、および車両規則を熟読して理解し、すべての規則を遵守すること。他の参加者や一般の来場者の安全を脅かすような言動をしてはならず、スポーツマンシップに則って行動しなければならない。・許された場所を除いて喫煙は厳禁とする。・すべての参加者は、主催者や大会役員および大会参加者の名誉を傷つけるような言動の一切をしてはならない。・事故その他障害が発生した場合、事務局は応急処置以外の責任は負えない。各自で障害保険に加入することを推奨する。
----------	---

【安全規定】(全クラス共通)

※昨年からの変更点は赤色で記載してあります。

ロールケージ	<p>ロールケージの材質は、鋼管製(クロモリ製含む)でなければならない。</p> <p>① オープンクラスの車両・・・4点式以上のロールケージを取り付けることが義務付けられる。 以下の条件に当てはまる車両は、運転席側にドアバーを取り付けることが義務付けられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドアビームを取り外した車両 ・ 合成樹脂製のドアに変更した車両 ・ 標準でドアビームが無い車両 <p>② クローズドクラスおよびノーマルクラスの車両・・・ロールケージの装着を強く推奨する。 オープンカーは4点式以上のロールケージを取り付けることが義務付けられる。 ※スチール製以外の脱着ルーフおよび開閉ルーフの車両はオープンカーと見なす。 ※オープンカーは6点式以上のロールケージを装着している場合に限り、ルーフを開けて(外して)走行することが許される。 ※ロールケージの装着を推進するため、装着の有無によってエントリー代に差を設ける。</p>
シートベルト	4点式以上のシートベルトを装着することが義務付けられる。 ベルトの幅は 3 インチのものを推奨する。ショルダーベルト後方にバックルがあるタイプの物は、極力使用しないこと。 シートベルトは確実な方法で車体に固定すること。取り付けのためのボディー加工は可能だが、最小限にとどめること。
車載消火器	<p>全ての車両は消火器を搭載することが義務付けられる。</p> <p>① 仕様 消火器は粉末2Kg以上の内容量が必要である。(または「別表1」に記載してある、FIA国際モータースポーツ競技規則 付則J項 第253条に認められた物を装備してもよい)</p> <p>② 取付場所／取り外し 消火器はドライバー等が容易に取り外せる位置に取り付けなければならない。 (推奨場所は助手席の足元)</p> <p>③ 取付方法 ・クラッシュした際に耐えられるように頑丈に取り付けなければならない。 ・取付け方向は車両の前後方向中心線に対して、出来る限り直角に近い状態にすること。 ・金属製ストラップの付いたワンタッチ金具の装着が認められる。(2箇所以上を推奨する)</p>
前後牽引フック	<p>前後に牽引フックを装着することが義務付けられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牽引フックは車両を牽引して移動するのに十分な強度を有していなければならない。 ・牽引フックは車両が砂地に停車した時でも使用が可能な位置に極力取り付けること。 ・砂地に停車した時に牽引フックが隠れる可能性がある場合は、黄色、オレンジ色、赤色の矢印で、牽引フックの位置を明記すること。 ・牽引部は黄色、オレンジ色、赤色のいずれかに塗装されていること。 ・その他の仕様についてはJAFの安全規定に合致したもの(内径φ50、断面積1平方センチ以上)を推奨する。 <p>※構造上牽引フックの装着が困難な車両は、フックの代わりに牽引ロープを装着することを特認する。</p>
イグニッションスイッチ	イグニッションスイッチおよび、燃料ポンプスイッチは、その位置が容易に確認出来るよう黄色で明示しなければならない。
安全燃料タンク	<ul style="list-style-type: none"> ・全クラスとも安全燃料タンクの装着が許される。 ・安全燃料タンクはFIA公認品の使用を強く推奨する。 ・コレクタータンクを別に装着する場合は最大容量 2L までとする。 ・取り付けは当初の燃料タンクの位置、あるいは荷物室に取り付けることが許される。 ・漏出した燃料が車室内に滞留しない構造であること。また、荷物室に設置した場合、アルミ板等の難燃性材料による隔壁を取り付けなければならない。 <p>※その他取付けにあたっては「JAF国内競技車両規則 第4章第12条『安全燃料タンク』」の項を参考にすること。</p>
ライト	ガラス製のライト類には無色透明の飛散防止テーピングを施さなければならない。(プラスチックレンズは不要)
床	<p>防音材、防振材は取り外すことが許される。</p> <p>カーペットは取り外すことを推奨する。</p>
バッテリー、オルタネーター	<p>バッテリーおよびオルタネーターの+端子は、クラッシュ時の火災を防止するために、テーピングして絶縁すること。(純正のゴムカバーも可だが簡単にめくれないようにテープで巻くこと)</p> <p>オープンクラスで「ドライタイプでないバッテリー」を室内に移設する場合は、頑丈なカバーでバッテリー一面を覆うこと。</p>
オイルキャッチタンク	<p>ブローバイ経路を変える場合、大気開放は禁止とし、オイルキャッチタンクで受けること。</p> <p>オイルキャッチタンクの取り付け方法は、針金やテープなどによる暫定的なものであってはならない。</p> <p>容量は2L以上を推奨する。</p>
ウインドウネット	<p>装着は自由。(運転席に装着した場合は窓を開けて走行することが許される)</p> <p>ネットはレース用として販売されている物、又は同等の強度・品質・寸法を持つものに限る。</p> <p>ゴルフネットやバイクのラゲッジネットなどの使用は認められない。</p>

※上記に記載の無い項目について安全対策を施す場合は、JAF国内競技車両規則を参考にすること。

『2013 K耐久／GT耐久東海シリーズ』 大会規則／安全規則 Ver.1

別表1

参考)2009 年国際モータースポーツ競技規則 付則J項 第 253 条 抜粋	
7.3.2) 認められる消火剤	AFFF、FX G-TEC、Viro3、粉末消火剤、FIAが公認したその他の消火剤
7.3.3) 消火剤の最少容量	AFFF:2.4L FX G-TEC:2.0Kg Viro3:2.0Kg Zero360:2.0Kg 粉末:2.0Kg